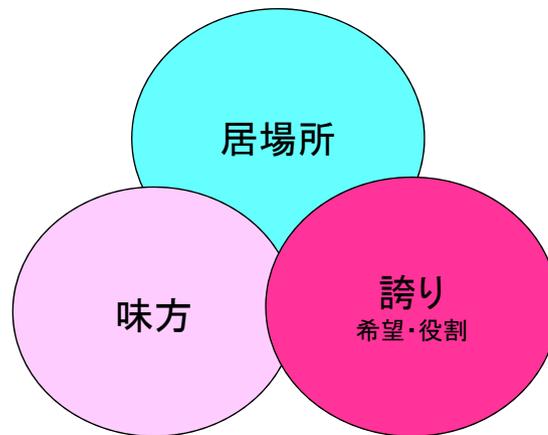


つなぐ・つながる
そして
前例を超える・前例を創る

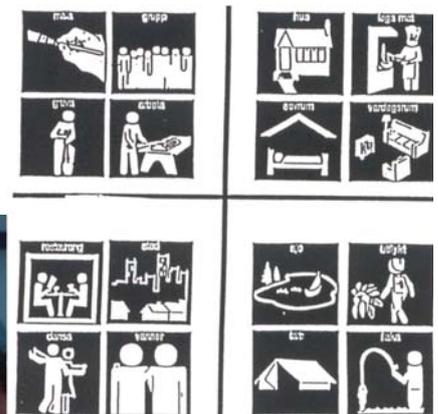


福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット・志の縁結び係&小間使い
朝日新聞科学部記者⇒次長(東大医学部講師)⇒論説委員
⇒大阪大学大学院ボランティア人間科学講座
⇒国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野

ゆき さん

ノーマライゼーション思想の父
ニルス・エリック・バンクミケルセン

究極のボランティア
ナチへのレジスタンス運動の闘士⇒
捕らえられて強制収容所⇒終戦⇒
厚生省障害福祉担当官⇒福祉局長

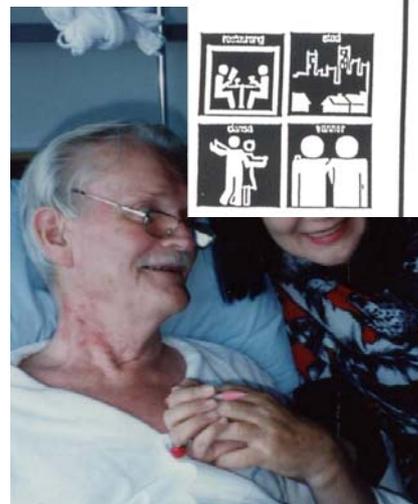


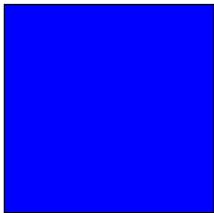
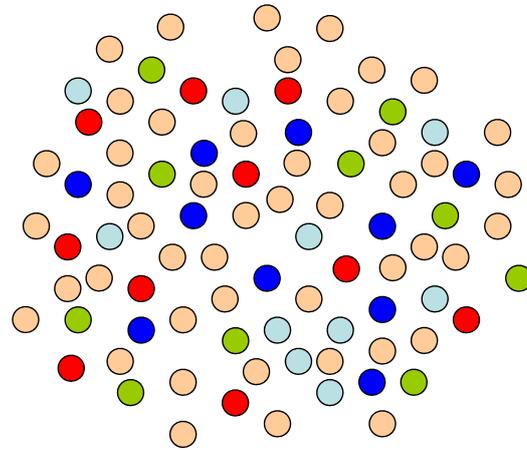
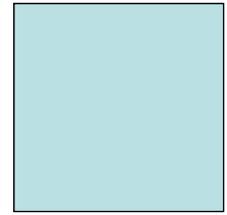
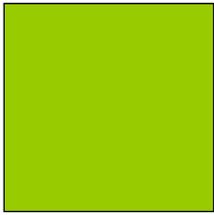
どんなに知的なハンディキャップが
重くても、

人は街の中のふつうの家で
ふつうの暮らしを味わう権利があり

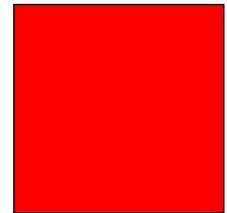
社会はその権利を実現する責任が
ある。

1959年法(デンマーク)





ノーマライゼーション
と
アフノーマライゼーション



イタリアの精神保健改革の父 フランコ・バザーリア 反ファシズム闘争で投獄された経験

多くの精神科医が、重い統合失調症の人を病院に入れて、「完治してない」といっては、入れっぱなしにする。

病院の外で生活するには、なにも「完治」する必要はない。

専門家の支援のもとで、自分の狂気と共存できるのだ。



“イタリアのNHK”や著名な写真家と協力して 精神病院の現実を 内部告発 (院長なのにもかかわらず(^_-)-☆)

精神病院で朽ち果てていく人々の
を写した写真集
バザーリア夫妻が監修



(1968年ゴリツィア)

RAI 3のドキュメンタリー番組
アベルの園
ゴリツィアのマニコミオ 1968年

バザーリア著
『否定された施設』
4年間で6万部の
ベストセラー

1. 患者と職員が一緒に「退院」、
拠点としての地域精神保健センター
(中学校区に1カ所)

2. センターは、当初から
24時間オープン年中無休

3. 最終的に7カ所のセンターが出来て、
病院は、ほぼ空に。

(1968年の精神衛生法改正で「自由入院」と「地域精神保健センター設置」が可能に。バザーリアはこれを忠実に実行)

4. 1973年、作業療法が廃止され、
作業は仕事に。

1. キリスト教民主党のザネッティ県知事が
社会主義者のバザーリアを院長に登用
2. トリエステで1971年から1978年までに
病院の全人材を地域精神保健に移行
3. 国も、キリスト教民主党政権に
イタリア共産党が閣外協力して法案を起草
4. 1978年5月、トリエステの実践を
全イタリアに普及させる法律180号法

1978年 180号法

精神病院を新しく造ることは禁止。
すでにある精神病院に新たに入院させることも禁止。
1980年末以降は再入院も禁止。

1

予防、治療、リハビリは、地域精神保健サービス機関で行う。
やむを得ない入院のために、
一般総合病院内に精神科ベッドを15床を限度に設置することができる。
このベッドは、人事も予算も地域精神保健サービス機関(通常は地域精神保健センター)の管理下に。
センター中心の治療が巧くいかないときにのみ、総合病院のベッドは使われる。

2



スタンダードルール
(⇒障害者権利条約)
の生みの親
国連特別報告官
ベクト・リンクビストさん

網膜色素変性症で失明
プロのドラマー
英語教師、
ラジオのディレクター、
障害者組織の代表をつとめ、
85年から91年まで、厚生大臣として
国民の人気を一身に

1972年

リンクビストさん「万人のための社会」を提案

1993年12月20日

すべての人に人生のさまざまなチャンスが公平に開かれている「万人のための社会」を実現するための国際的な物差し **スタンダードルール**が国連総会で満場一致で採択。

リンクビストさんが特別報告官に

2006年

「障害者の権利条約」国連総会で採択

2014年

「障害者の権利条約」日本批准

2022年

日本への厳しい勧告(総括所見)

デンマークの
高齢者医療福祉
3原則 1982

人生の継続性の尊重
自己資源(残存能力)の活用
自己決定の尊重

アンテルセン教授
専門は自治体行政
と経済学

↓
アンテルセン大臣



1989日本に招待

戸井田厚生大臣と縁結び

シンポジウム

「寝かせきりゼロ」を求めて

包括性・継続性・市町村の権限

⇒**戸井田大臣の命名で、
「寝たきり老人ゼロ作戦」が
スタート**

1991年「寝たきりゼロへの70か条」

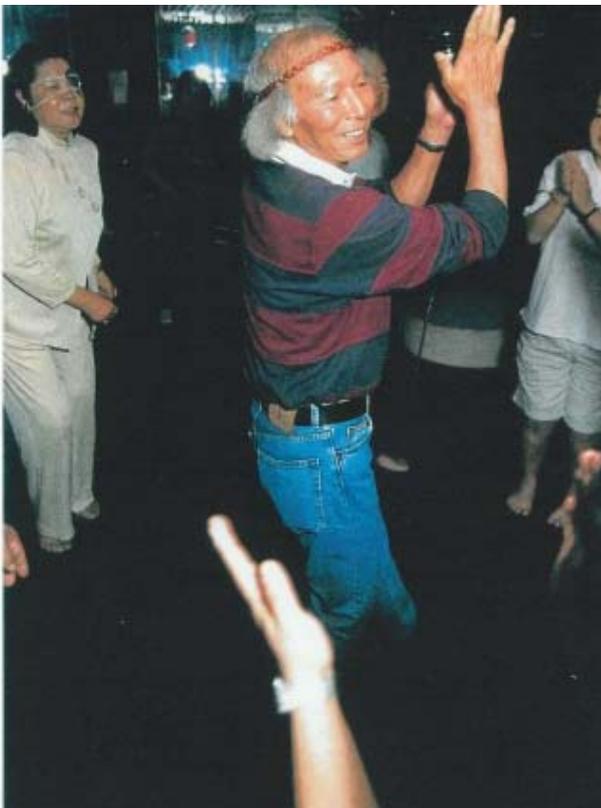


富山の「このゆびとまれ」を
訪問して感動。
盲目の少女が編んだ
ふくろうを
大切に

究極の自立支援法をつかった エーバルト・クローさんの 世直し7原則



- グチや泣き言では世の中は変えられない
- 従来の発想を創造的にひっくり返す
- 説得力あるデータにもとづいた提言を
- 市町村の競争心をあおる
- メディア、行政、政治家に仲間をつくる
- 名をすてて実をとる
- 提言はユーモアにつつんで(^_-)-☆



日本でも。。

1971年6月
石川信義doctor
三枚橋病院開設
規則はつくらない、
鍵を捨てる、
白衣も捨てる、
ディスコをつくって、
男女交際奨励

1980年9月 病棟すべての
鉄格子を撤去

石川信義doctorが蒔いた 希望の種が、岡山と宮城で

読売新聞医療大全 2019年5月 (鈴木敦秋 編集委員)

(1)「人が優しい」通院楽しみ



昨年夏、豪雨災害に見舞われた、岡山県倉敷市真備町。竹林が風にそよぐ山裾に、患者を「しばらない」ことで知られる、精神科の「まきび病院」（1981年開設、145床）がある。

通院歴16年、元看護師の大月直子さん（43）は、毎月の通院が楽しみだ。スタッフに会うたび、「人が人にやさしい」と感じる。

かつて大学病院の精神科病棟や民間の精神科病院で働いた。職場の人間関係に傷つき、落ち込み、周囲に適応しようと必死だった頃、



「権利にもとづく医療・福祉」を
提唱する山崎英樹さん
スコットランドを訪ねて
右端が山崎英樹さん
中央が丹野智文さん



理念

わたしたちは「自立と共生の権理を導ぶナラティブな関わり」をめざします。

人と人との関わり、人と街との関わり、人と自然との関わりを大切にしながら、一人ひとりの思いを叶え、誰もが自分の人生の主人公として主体的に生き、価値を認められて人とつながりながら生きる権理を応援します。

解説

自分で決めながら主体的に生き（自立）、価値を認められて人とつながりながら生きること（共生）は、人の命に授けられたあたりまえの権理です。けれども障がいとともに生きる人は、その障がいへの配慮を欠く環境や人々によって主体性を奪われ、つながりを絶たれることがあります。わたしたちは、対話を通じて個別の配慮を尽くしながら、本人が自分の権理に自覚め、本来の力を発揮しながら生きることを応援し、一人ひとりの物語が育まれるように心をこめて関わります。

願い

人は一人で生きられるものでもなく、また生きるべきものでもありません。とりわけ心ならずも病める人々や障がいをもって生きる人々と、ともに在ることを自覚するとき、あるいはその看取りをとおして、人は深い気づきに導かれます。それは、たとえ、自分を含むすべての人の人生に対する種やかな肯定感であり、たとえば、人と人とのつながり、人と街とのつながり、人と自然とのつながりを、豊かに受けとめる感性であり、たとえば、そうした感覚を静かに共有できる文化、その文化にささえられながら、病んでも、障がいをもって、安心して暮らせる社会を築きたいという夢であったりします。わたしたちは、心ならずも病める人々や障がいをもって生きる人々と「ともに在ること」を原点



認知症と診断されたら
となりの部屋で“先輩”が。。

当時厚生労働省社会・援護局長・山崎史郎さん

いま、内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局総括事務局長



このプロジェクトは、「認知症の人は、精神科病院や施設を利用せざるを得ない」という考え方を改め、「認知症になっても本人の意思が尊重され、**できる限り住み慣れた地域**のよい環境で暮らし続けることができる社会」の実現を目指している

⇒オレンジプラン2012
ところが。。

日本精神病院協会山崎会長のFacebookより



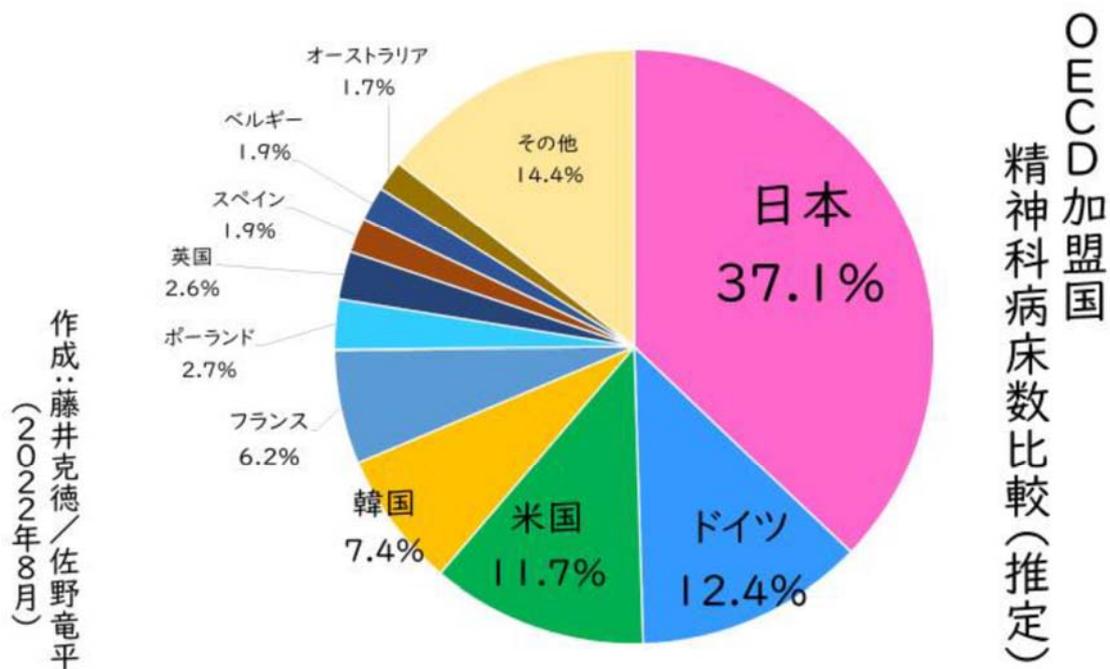


苺とクリームで飾られたデコレーションケーキ



精神病院関係者の議員が、「精神病院が司令塔」と加筆
共同通信だけ「見え消し版」を入手。専門家も「新」なのだからよくなったのだと錯覚

白雪姫の毒リンゴ・知らぬが仏の毒ミカン 2015「新オレンジプラン」(『精神医療』誌)



3冊のベストセラー

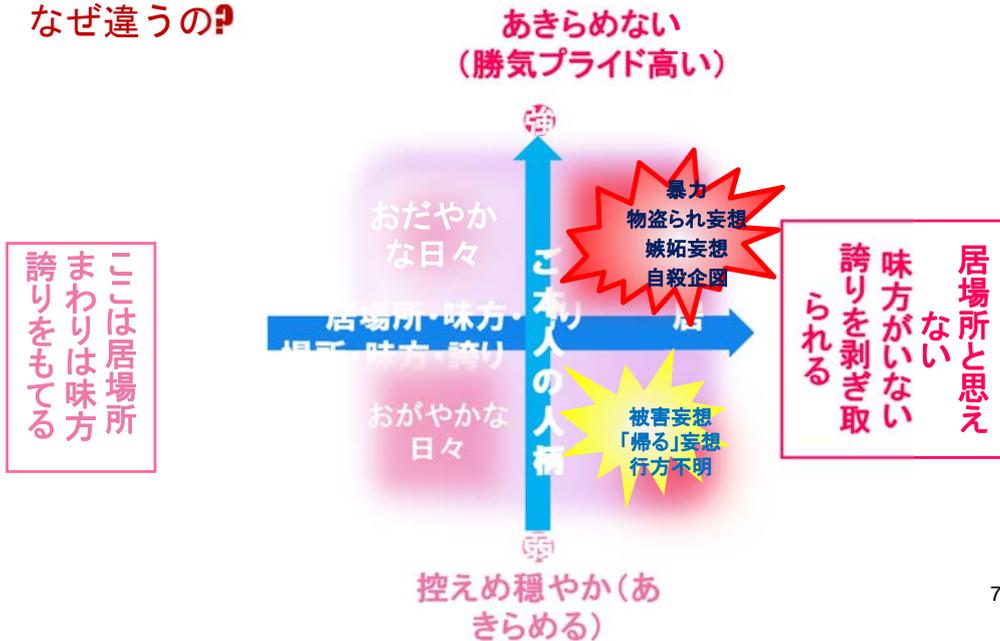


認知症を
受け入れる文化、
そして
暮らしづくり
高橋幸男
著
For Careman
〜ケアマネジャーに知って欲しい
認知症についての最低限の知識



医学ジャーナリスト協会賞受賞

診断は同じ認知症なのに
なぜ違うの?



島根大学医学部臨床教授
高橋幸男doctorの
論文をもとに、ゆき作成



当事者研究全国交流集会(浦河大会)



当事者研究のツボ

- “こころが温まる対話”を重ねる
- ワクワク感と好奇心
- 苦労に直面したら、まず「観察と情報収集」
- 常に仲間との情報交換(相談)を心がける
- 一人じゃない実感
- どんな現実や結果も、「研究」というボックスに放り込む

2018/7/26

35

当事者研究の「知恵」

生きた経験「知」、実践「知」

当事者研究

苦労、失敗大歓迎！

—失敗も一つの成果である—

経験
交流

経験
交流

苦労のデータ収集

2018/7/26

42



「筆まめ」に6958人
 年賀状約3000人
 「えにしメール」を受けてくださる方
 18国6000人余

由紀子さんの旅立ちをお祝いし、新たな縁を結ぶ会

2001.5.12 プレスセンターホール

呼びかけ人

(当事者ネットワーク)

池田省三(介護の社会化を進める一万人市民委員会)
 勝村久司(医療情報の公開・開示を求める市民の会)
 川内美彦(障害をもつ人の権利リーガルアドボカシー)
 見坊和雄(老いを共に楽しむネットワーク)
 佐々木信行(ビープルファーストをはなしあおう会)
 佐藤きみよ(ベンチレーター使用者ネットワーク)
 高岡正(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会)
 田中徹二(障害分野NGO連絡会)
 多田宮子(さくら会)
 芳賀優子(弱視者問題研究会)
 樋口恵子(高齢社会をよくする女性の会)
 樋口恵子(全国自立生活センター協議会・JIL)
 山崎多美子(全国精神障害者団体連合会・ぜんせいわん)
 山田昭義(障害者インタラクティブなショナルDPI)
 渡辺啓二(ジョイントプロジェクト)

(支援ネットワーク)

池田昌弘(宅老所・グループホーム全国ネットワーク)
 伊藤哲寛(精神医療をよくする市民ネットワーク)
 北岡賢剛(全国地域生活支援ネットワーク)
 熊谷崇(日本ヘルスケア歯科研究会)
 小林洋二(患者の権利法をつくる会)
 菅原弘子(福祉自治体ユニット)
 高橋儀平(福祉のまちづくり研究会)
 高見国生(果け老人をかかえる家族の会)
 坪井栄孝(女性・子ども・命・未来を守る会)
 藤井宗徳(共同作業所全国連絡会)
 藤田康幸(医療改善ネットワーク)
 別府宏樹(正しい治療と薬の情報)
 星川安之(日用品を広めるネットワーク)
 山岡義典(日本NPOセンター)
 リャン・スンチ(日本ホスピス・在宅ケア研究会)

(自治体)

浅野史郎・宮城県知事
 岩川 徹・鹿野町長
 國松善次・滋賀県知事
 坂本祐之輔・東松山市長
 潮谷義子・熊本県知事
 福田昭夫・栃木県知事
 光武 顕・佐世保市長
 森 直述・高浜市長

(厚生行政)

伊藤雅治・医政局長
 篠崎英夫・健康局長
 今田寛睦・障害保健福祉部長
 堤隆二・老健局長
 大塚義治・保健局長
 辻哲夫・年金局長
 中村秀一・審議官(医療保険担当)
 河幹夫・参事官(社会保障担当)
 山崎史郎・老健局計画課長
 香取照幸・内閣府参事官(社会システム担当)

(朝日新聞社)

佐橋木俊郎(論説主幹)
 田辺功(編集委員)
 内山幸男(科学部長)
 白井敏男(社会部長)
 吉田慎一(くらし編集長)
 川名紀美(論説委員)
 伊中義明(論説委員)
 浜田秀夫(論説委員)
 高橋真理子(論説委員)
 和田公一(社会部)

福祉と医療・現場と政策を隔てる
 深くて広い河に橋を架けるために



♪ えにし結びたい・む ♪



ことしもまた、新たな縁(えにし)を結ぶ会'15!

何事とも見えていますと、大学病院というのには、医師を研修している専門機関です。それなのに、あの報道から見えなくては、本当に一人一人の個別性を大事にしていく、という医師として一番当たり前の部分が残っているなど。

© 阿葉真

シンポジウム・女の度胸が医療を変える



平井鳥取県知事の“指導”で手話で アイラビュー

福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット

★「えにし」のHP

★「えにし」メール

★「えにし」を結ぶ会

手話通訳 / パソコン要約筆記 /

磁気テープ / 指点字つき

保育サービス



志の縁結び係&小間使い

ゆき



プログラム

13:00 開会 プレスセンターホール

13:05 ~ 14:45

第1部 濃縮シンポジウム

「住みなれたまちで、若い・障害・病気・認知症と仲良く暮らすために」

- ☆ 認知症で痛の人も受けとめるホームホスピス「かあさんの家」の市原美穂さん
 - ☆ 日本で初めて施設を解体した雲仙の田島良昭さん
 - ☆ 「新しい地域医療の構築」に取り組む日本医師会長の横倉義武さん
 - ☆ ユニバーサルデザインを熊本県政の理念に刻んだ、いま、日本社会事業大学理事長の潮谷義子さん
 - ☆ 「住みなれた地域で自分らしく」を開ける厚生労働省老健局長の原勝則さん
- コーディネーター：野澤和弘さん（毎日新聞論説委員）

14:45 ~ 15:15 ♪ えにし結びたい・む ♪

スクリーンには、「コンボ」や「クッキングハウス」の新失調症の方々の笑顔の写真、ALSの記者の活躍などを次々と

15:15 ~ 16:30

第2部 立体シンポジウム

「罪をつくる構造～警察官・検察官・裁判官、そしてメディア」

- トリー」通りの供述調書をつくられた運転手の二階堂基一さん
 - 本一の福祉のまち」をつつたことと知られた秋田県田代町長の岩川徹さん
 - 罪で囚われの身になった村木厚子さん、支えきった太郎さんご夫妻
 - 木さんを救い出した敏腕弁護士・弘中博一さん
- コーディネーター：大熊一夫さん（ジャーナリスト・元大阪大学大学院教授）

2013.4.27 SAT

しもまた、新たな縁(えにし)を結ぶ会 '13!

~ 18:00 ♪ 長めのえにし結びたい・む を夜の会場のそばで ♪

~ 21:00

第3部 大討論会

内幸町ホール

本にも、本格的な認知症の国家戦略を !!!

- 認知症ご本人、佐藤雅彦さん & 中村成信さんの掛け合いトーク
 - ☆ 認知症ご本人が政策の成果を評価する「京都方式」をつくり、ことしも1000人を一堂に集めた森俊夫さん
 - ☆ デンマークに学び、認知症コーディネーターを386時間の実のある研修で8期76人誕生させた大年田の大谷のみ子さん
 - ☆ 認知症の母上を自宅で看取った東京都医師会長の野中博さん
 - ☆ 認知症施策5カ年計画（オレンジプラン）を推進する厚生労働省の副大臣・榎原敬信さん
 - ☆ 共生ケアの元祖、富山の「このゆびとまれ」の惣万佳代子さん
 - ☆ 認知症の人の地域での暮らしを応援する佐賀県知事の古川康さん
- コーディネーター：町永俊雄さん（元NHK福祉ネットワークキャスター）

総合司会 国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野卒業生 & 博士課程院生のコンビ
村上 紀美子さん...ジャーナリスト
緒 花二さん.....日本福祉大学福祉経営学部教授・社会福祉法人睦月会理事長



2015年無名だったころの丹野さん夫妻

ご希望の本の名前とご住所、お名前を yuki@spa.nifty.com まで



物語 上 介護保険
いのちの尊厳のための70のドラマ
大熊山紀子

物語 下 介護保険
いのちの尊厳のための70のドラマ
大熊山紀子

誇り・味方・居場所 私の社会保障論 大熊山紀子
Dignity, Allies, and a Place of Your Own: A Journalist's Insight into Social Security Issues
日本最高の福祉医療ジャーナリストが書き続けた珠玉の提言！

ゆき.えにしネット
福祉と医療、現場と政策をつなぐホームページ

えにしのページへようこそ (〇〇) (〇〇) (〇〇)

「えにし」の名の由来は、2001年5月、プレスセンターで聞いていた「新たな縁(えにし)を結ぶ会」に惹かれます。

一人のジャーナリストと縁があるという、ただ、それだけの縁で集ってくださった分野の違う方々の間に、不思議な、新たな縁が結ばれ、広がってまいりました。

このホームページが、福祉と医療とまちづくり、そして、現場と政策の新たな縁結びにつながることを願って、少しずつ内容を充実してまいります。時々覗きにきてくださいな(^_-^)☆

ご意見、お便りをお待ちしています。
doy00573@nifty.comへどうぞ！

大熊山紀子 (朝日新聞論説委員室一版大ソール
一國際医療福祉大学大学院・佛教大学社会福祉学部・教

～～更新履歴はこちら～～

誇り・味方・居場所～私の社会保障論	2017/10/10
社会保障と政治の部屋	2019/04/01
福祉医療政策激動の部屋	2021/02/01
物語・介護保険	2010/09/13
福祉・医療人材とケアの質の部屋	2021/08/09
選んだ場所で誇りをもって	2018/03/05
雑居部屋の部屋	2013/09/02
ホスピスケアの部屋	2021/08/30
福祉の町・秋田県鷹巣町がつくり上げたもの・失ってしまったもの	2014/10/27

優しき挑戦者の部屋・国内篇	2020/11/16
優しき挑戦者の部屋・海外篇	2020/09/21
被災した方を応援するために	2016/05/09
世直しの人間科学	2008/02/02
100のチェックポイント	2006/01/02
少子化・子育て・教育の部屋	2015/05/17
千葉・ちいき発	2008/06/23

公開講義・倫理と変革の部屋	2021/09/20
医療福祉ジャーナリズムの修士・博士コースへのお誘い	2010/12/19
メディアの部屋	2018/03/05
メディアと冤罪の部屋	2020/04/06
写真帳から (pictures)	2002/01/01
目からウロコのメッセージの部屋	2013/08/25
シンポジウムの部屋	2014/08/17
"秘蔵"・資料の部屋	2005/12/02
障害差別をなくすための海外資料翻訳の部屋	2007/05/13
卒論・修論・博論の部屋	2020/10/25
世界とどこかわれば	2015/07/06

認知症の部屋	2021/09/06
自立生活の部屋	2016/10/04
福祉用票の部屋	2019/05/06
精神医療福祉の部屋	2021/09/06
身体拘束の部屋	2020/07/26
障害福祉政策・激動の部屋	2021/08/16

インフォームド・コンセントの部屋	2021/03/22
在宅ケアの部屋	2021/01/11
たばこの部屋	2020/04/13
くすりの部屋	2021/01/25
「子宮頸がん予防」?ワクチンの部屋	2021/09/20
医療事故から学ぶ部屋	2021/03/29
患者体験者と遺族に学ぶ部屋	2007/11/20

らうんじ・えにし	2021/04/05
えにしの方の墓碑銘	2021/09/20
年賀状から	2021/01/04
えにしの本のエッセンス	2021/08/16
ゆきの部屋	2016/07/04
えにしの人々の組織にリンク	
えにしの人々のページにリンク	2021/02/08

詳しいことは

<http://www.yuki-enishi.com/>

「ゆきえにし」で検索すると
できます。